



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 4772 URL https://www.streammedia.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 官鎔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 山田 政彦 TEL 03-6809-6118
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,211	—	△555	—	△544	—	△555	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △552百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△15.20	—
2019年12月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2020年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,366	3,841	56.4
2019年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 3,590百万円 2019年12月期 ー百万円

(注) 当社は、2020年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年8月13日に開示いたしました「2020年12月期通期業績予想修正に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たず、現時点では合理的な算定が困難であります。今後、業績予想の合理的な算定が可能となつた時点で、改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 3 Q	106,520,351株	2019年12月期	16,520,351株
② 期末自己株式数	2020年12月期 3 Q	9,468株	2019年12月期	9,351株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 3 Q	36,547,466株	2019年12月期 3 Q	16,511,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、個人消費は持ち直しつつも、国内外の感染者数が再度増加傾向にある等、収束時期が見通せず、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当事業を取り巻く環境といたしましても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う政府によるイベント開催制限や渡航制限等により、海外アーティストのオフラインでの大型イベント開催は依然として難しい状況が続いております。またCS・BSデジタル放送の契約者数は年々減少傾向にある一方で、ステイホームに伴う巣ごもり消費が増加する中、OTT(ネット配信による動画配信)サービスへの注目度は更に高まっており、このような視聴スタイルやコンテンツ配信プラットフォームの多様化に伴い、韓国コンテンツが脚光を浴びる機会がさらに増加しております。

このような経営環境の中、当社の第3四半期連結会計期間におきましては、引き続き人気コンテンツの番組販売及び商品化権販売等の著作権事業が順調に推移し、当社の業績に貢献いたしました。また放送事業におきましては、従来の自社テレビ局であるKNTV、DATVやリニア配信のKchan!韓流TVに加え、専用チューナーなしで視聴可能なKNTV801で新たな顧客層の開拓を図った他、オンライン配信事業としてオンライン適合型コンサート『Beyond LIVE』を開催する等、時代のニーズに合わせたサービスの提供を試みてまいりました。また、2020年8月1日付での株式会社SMEJとの吸収合併を通してグループ各社との連携を強めることで、コンテンツポートフォリオ及びプラットフォームの拡大、既存事業とのシナジー創出により、更なる事業拡大を図っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により大型イベントがなかったこと、また合併による費用が嵩んだことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,211百万円、営業損失555百万円、経常損失544百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失555百万円となっております。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(ライツ&メディア事業)

放送事業では、自社テレビ局であるKNTV、DATV、リニア配信のKchan!韓流TVの既存3チャンネルの他、2020年6月より新たに加わったKNTV801におきましても、多様化する視聴者ニーズに対応し、継続的な視聴料収入の安定化と販路拡大を図ってまいりました。KNTVでは、韓国ケーブルドラマ史上歴代最高視聴率を記録したヒット作『夫婦の世界(原題)』を日本初放送した他、豪華アーティストの出演と最先端のAR技術を使用した演出で話題となったオンライン専用コンサート『Beyond LIVE』を9月から毎週放送し、話題を集めました。またDATVでは、韓国ケーブル局tvNが毎年公募で選ばれた脚本をドラマ化するオムニバスドラマ『ドラマステージ2020』や、豪華競演で話題となった中国ドラマ『十年三月三十日』を日本初放送いたしました。さらにKchan!韓流TVでは、毎月ソウルから人気アーティストのステージをお届けするオリジナル音楽番組『Power of K SOUL LIVE』の他、韓国のニュース番組『MBC ニューストゥデイ』のリアルタイム配信も行っていました。

著作権事業では、大型ドラマ著作権の自社テレビ局での放送をはじめ、CS・BSでの放送決定やDVD・VOD化事業も好調に推移しております。

また新たにスタートしたオンライン配信事業の『Beyond LIVE』では、韓国の人気ガールズグループTWICEのオンライン公演『Beyond LIVE - TWICE : World in A Day』や人気ボーカルユニットSUPER JUNIOR-K.R.Y.の『Beyond LIVE - SUPER JUNIOR-K.R.Y. : The moment with us』を開催した他、『a-nation online 2020』の配信も行い、大きな話題となりました。

この結果、売上高は2,474百万円、セグメント利益は141百万円となっております。

(エンターテインメント事業)

イベント事業では、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント開催制限や渡航制限により、オフラインイベントの開催はなかったものの、韓国人気ガールズグループMAMAMOOのメンバーHwaSaの1stミニアルバム発売記念オンラインサイン会を開催する等、政府のガイドラインに沿ったイベント開催を模索してまいりました。

マネジメント事業では、『a-nation online 2020』に当社が日本マネジメントを行うエスエム・エンターテインメント所属のSUPER JUNIOR、Red Velvet、EXO-SC、SuperMが出演し、注目を集めました。

ファンクラブ・MD事業では、当社が運営する韓国エンタメグッズ専門オンラインショップ「K1stshop」にて、当社がファンクラブを運営するパク・ソジュン主演で話題のドラマ『梨泰院クラス』のオリジナル・サウンドトラックの予約販売を行い好評を得ました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの開催制限により大型イベントの開催がなかったことから、売上高は735百万円、セグメント損失は127百万円となっております。

(その他事業)

その他事業では、売上高は0百万円、セグメント損失は5百万円となっております。

2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,366百万円となりました。流動資産は6,001百万円となり、主な内訳は、現金及び預金899百万円、売掛金1,838百万円、コンテンツ事業権1,869百万円であります。また、固定資産は365百万円となり、主な内訳は、有形固定資産52百万円、無形固定資産99百万円、投資その他の資産212百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,525百万円となりました。流動負債は2,507百万円となり、主な内訳は買掛金2,022百万円であります。また、固定負債は17百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,841百万円となりました。株主資本は3,590百万円となり、主な内訳は資本金4,591百万円、資本剰余金1,855百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年8月13日に公表いたしました「2020年12月期通期業績予想修正に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	899,619
売掛金	1,838,672
商品	11,054
番組勘定	691,362
コンテンツ事業権	1,869,364
前渡金	440,927
その他	257,290
貸倒引当金	△7,154
流動資産合計	6,001,138
固定資産	
有形固定資産	52,648
無形固定資産	99,484
投資その他の資産	
その他	315,969
貸倒引当金	△103,024
投資その他の資産合計	212,945
固定資産合計	365,078
資産合計	6,366,217
負債の部	
流動負債	
買掛金	2,022,489
前受金	214,173
その他	270,824
流動負債合計	2,507,487
固定負債	17,564
負債合計	2,525,051
純資産の部	
株主資本	
資本金	4,591,492
資本剰余金	1,855,861
利益剰余金	△2,823,739
自己株式	△33,036
株主資本合計	3,590,578
新株予約権	185,562
非支配株主持分	65,025
純資産合計	3,841,165
負債純資産合計	6,366,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,211,365
売上原価	2,665,148
売上総利益	546,216
販売費及び一般管理費	1,101,521
営業損失(△)	△555,305
営業外収益	
受取利息	1,664
業務受託料	8,000
その他	1,421
営業外収益合計	11,086
営業外費用	
支払利息	453
為替差損	223
その他	6
営業外費用合計	684
経常損失(△)	△544,903
特別利益	
新株予約権戻入益	6,680
特別利益合計	6,680
税金等調整前四半期純損失(△)	△538,222
法人税、住民税及び事業税	4,979
法人税等調整額	9,735
法人税等合計	14,714
四半期純損失(△)	△552,937
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,525
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△555,462

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△552,937
四半期包括利益	△552,937
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△555,462
非支配株主に係る四半期包括利益	2,525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業の種類別の事業部体制を採っております。

したがって、当社は、事業の種類別のセグメントから構成されており、「ライセンス&メディア事業」及び「エンターテインメント事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントは以下のとおりとなります。

- (1) ライセンス&メディア事業 …… ドラマ放映権及び映画の配給権に関する諸権利の取得・事業化、CS放送での番組提供及びイベント、オンライン配信事業等
- (2) エンターテインメント事業 …… アーティスト等のマネジメント、音楽制作、コンサート・イベントの企画制作、ファンクラブ運営及びMD事業等

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ライセンス& メディア 事業	エンター テインメント 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,474,872	735,942	3,210,815	550	3,211,365
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,474,872	735,942	3,210,815	550	3,211,365
セグメント利益又は損失(△)	141,734	△127,764	13,970	△5,567	8,403

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カラオケのアプリ事業を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	13,970
「その他」の区分の利益	△5,567
全社費用(注)	△563,708
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△555,305

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は、2020年5月29日開催の取締役会において、当社とSM ENTERTAINMENT CO., Ltd.を同一の親会社に持つ株式会社SMEJ(以下、「SMEJ」)を合併することについて決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。なお、本契約について2020年7月21日開催の当社臨時株主総会における承認決議を経て、2020年8月1日にSMEJを吸収合併いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社SMEJ
事業の内容	歌手のマネジメント、音楽制作、コンサート・イベントの企画制作、及びMD事業等

(2) 企業結合を行った主な理由

当社はこれまで、CS放送・ライツ事業のノウハウを活かし、モバイルへとチャンネルを拡張して、日本・韓国のみならずアジア全体を舞台として事業領域の拡大を図ってまいりました。

また、当社の親会社である株式会社キーイーストや株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン、そして両社の親会社であるSM ENTERTAINMENT CO., Ltd.との関係強化を図ってまいりました。

しかしながら当社を取り巻く事業環境におきましては、5G時代における動画配信サービスの普及等メディア環境の変化に伴い衛星放送契約者数は依然として減少傾向にあり、視聴料収入の伸び悩みやファンクラブ事業収入の減少等と共に大変厳しい状況が続いております。

一方で、視聴デバイスの多様化に伴い急増する良質コンテンツ需要を背景としたコンテンツ争奪戦が激化しており、アジアを超え米国や欧州等への広がりを見せるK-POPやドラマ等の韓流コンテンツに対する世界市場の注目度は益々高まってきております。

当社は、新しい成長を実現するための道筋を確立するべく、当社と株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン及びその完全子会社であるSMEJとの間で様々な検討を行ってまいりました。

その結果、当社がSMEJと吸収合併することで、企業規模及び事業ポートフォリオを拡大し、シナジーの発揮を通じて、アジアを超えて世界を舞台とした総合メディアコンテンツ企業となることが可能であるという考えに至りました。エスエム・エンタテインメント・ジャパン及びその傘下企業の資源を効率的に活用することが可能だけでなく、世界展開を行うSM ENTERTAINMENT CO., Ltd.並びにその子会社及び関連会社の豊富なコンテンツを活用することで当社が日本において長年にわたり構築してきたプラットフォームのより効率的で魅力的な運営が期待できると考えております。

(3) 企業結合日

2020年8月1日

(4) 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社とし、SMEJを吸収合併消滅会社とする吸収合併方式。

(5) 結合後企業の名称

株式会社ストリームメディアコーポレーション

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当増資による新株式の発行)

2020年10月28日開催の取締役会において、NAVER Corporationを割当先とする第三者割当増資による新株式発行を下記のとおり決議いたしました。

1. 新株式発行の概要

(1) 払込期日	2020年11月30日
(2) 発行新株式数	普通株式 8,693,480株
(3) 発行価額	1株につき 317円
(4) 払込金額の総額	2,755,833,160円
(5) 資本組入額の総額	1,377,916,580円
(6) 調達資金の額 (差引手取概算額)	2,743,833,160円
(7) 割当先及び株式数	割当先 NAVER Corporation 株式数 8,693,480株

2. 本第三者割当増資による資本金の額及び発行株式数の推移

(1) 本第三者割当増資による資本金の額の推移

増資前の資本金の額	4,591,492,324円
増加する資本金の額	1,377,916,580円
増加後の資本金の額	5,969,408,904円

(2) 本第三者割当増資による発行済株式総数の推移

増資前の発行済株式総数	106,520,351株
増加する株式の数	8,693,480株
増加後の発行済株式総数	115,213,831株

3. 調達資金の使途

本第三者割当増資で調達する資金は、当社の成長戦略及び事業戦略を推進し、将来の収益拡大を図るための資金に充当いたします。主な使途は以下のとおりです。

具体的な資金使途		金額	支出予定時期
①「Beyond LIVE」を含む 新規事業への投資	技術開発・運用維持保守	700百万円	2020年12月～2023年12月
	運営・管理費	700百万円	
	マーケティング	322百万円	
②既存事業の強化 (ライセンス及びコンテンツ購入費用、宣伝費用等)	322百万円		
③事業拡大に伴う人材の確保・育成	698百万円		